



桂林小だより

令和7年2月20日

第13号

校長 加藤 慶一

R6年度鼓笛隊からR7年度鼓笛隊へ “鼓笛引継ぎ式” バトンが渡されました

二月六日、「鼓笛引継ぎ式」を行いました。桂林小鼓笛隊が令和六年度のメンバーから新メンバーへと引き継がれました。

六年生にとって、全校児童の前で披露する最後の機会となるのが、この引継ぎ式です。今年一年間、桂林小の高学年として全校をリードしてくれた五年生とともに、緊張感のあるしっかりとした演奏・演技を披露してくれました。私は、毎年この引継ぎ式で、次のような気持ちを感じ、胸がいっぱいになってしまいます。六年生に対する感謝とさみしさが入り混じった複雑な気持ちです。五年生・四年生に対しては応援・期待する気持ちです。

六年生、本当にありがとうございました。必死に練習して迎えた五月の校区パレード、そして川開き観光祭での音楽大パレード。リズムやメロディ、動きを揃えるため、「心を一つに」をスロー・ガンに仲

間とともに練習をがんばりぬいたこと、ずっと見てきました。たくさんの努力と苦労があつたからこそ、凛とした力強い姿を手に入れることができたのだと思います。とてもかっこよかったですし、多くの人の声援を集めました。その経験を糧として、五年生とともに桂林小のリーダーとしてこれまで全校を引つ張ってきました。卒業まであとわずかです。

そして五年生、いよいよあなたたちの出番です。六年生とともに、凛とした姿で鼓笛隊をかつこよく務めあげてくれた五年生、パート決めからこれまで本当によく練習に励んできました。毎日のように練習の音が響き、聴こえてきて感心していました。あなたたちは、六年生といっしょに素敵な姿で下級生に手本を示してくれました。そんな皆さんだからこそ、桂林小の最上級生・リーダーとして期待していますし、頑張り努力する皆さ

間とともに練習をがんばりぬいたこと、ずっと見てきました。たくさん

の努力と苦労があつたからこそ、心の底から応援いたします。六年生と言葉を交わし、樂器を引き継いだ皆さんのは、表情は、とても引き締まつていて素敵でした。

四年生、いよいよ鼓笛隊のメンバーとなりました。同時に、全校をリードしていく高学年となります。この引継ぎ式をきっかけに、これから学んでほしいことがあります。仲間と協力することの素晴らしさや、目標を達成するためには自分がどう頑張らなければならぬのか、自分や仲間を大切にするとはどういうことであり、どのように行動を変えていく必要があるのか・・・等々です。リズムやメロディ、動きを合わせていく練習や移動や集合整列などの所作の方を考えること、ユニフォームを着て身だしなみを整える意味を考えることなど、鼓笛の取組から学べることは演奏・演技の技術向上だけでなく、たくさんあります。自分の取り組み方次第で得るものが違ってきます。どうかこの学びのチャンスを逃さず、四年生全

員で一人ひとりを、そして集団を、今よりももっとと高めていくてほしいと思っています。

五年生、四年生、頑張れ！ 心から期待しています。



五年生と六年生による鼓笛隊の演奏・演技、五年生と四年生による演奏・演技が終わった後、下級生たちからは、「私も、みなさんのようにかつこいい鼓笛隊になりたいです。」との声が多く聞かれました。これは憧れの声です。下級生が上級生に憧れる、とても素晴らしいことだと思います。



この二月、桂林小学校は、縄跳び運動による体力向上をめざす機関となっています。ねらいは右のとおりです。運動能力を高める

○縄跳び運動を通して、動きを持続する能力や、筋力、瞬発力、俊敏性等の力をはぐくむ。
○集団で行う活動を通して、協力することの大切さを感じさせ、友だちの良さや頑張りを認められる集団づくりをする。

子どもたちは短縄で個人の縄跳びのレベルを上げることと、学級のみんなと長縄を途切れさせないようになります。チャレンジしています。寒波の到来でとても寒い二月となりましたが、寒さを気にせず、休み時間も元気に取り組む子どもたちがすごいです。

けでなく、協力することや良さや頑張りを認め合う集団づくりもねらつての取組です。

縄跳び運動による体力向上の取組

体育専科教員
高瀬小学校
岩崎 敬先生



練習の後、タブレットで自分の動きを確認する子どもたち。



スクリーンにポイントを映し、わかりやすく説明する岩崎先生。

二月に入つてからの二週間、日田市内で体育専科教員をしている高瀬小学校の岩崎 敬先生が、桂林小の体育の授業に来校してくれました。プロジェクトなどを使った丁寧な指導は、子どもたちだけでなく、桂林小の先生方にも大変勉強になる内容でした。岩崎先生、大変ありがとうございました。